

2025年度

二チイキッズ新鎌ヶ谷保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月5日（月）～1月30日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月20日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	保育理念の「思いっきり」を念頭におき、一人ひとりの主体性を大切にしながら同時に発達段階を再確認しながら保育を進めていくようにした。日々の保育の振り返りを行いながら保育の質向上に努めた。
子どもの発達援助	一人ひとりの発達段階を把握し、人的、物的環境を整えていくようにした。子どもの主体性を尊重し、思いを十分に受容できるように関わりを持ち、安定した保育を提供した。
保護者に対する支援	送迎時やコドモンでのやりとりで、家庭環境の変化や日常の中の気づきを丁寧に汲み取り、保護者の思いを受け止めながらより丁寧に接することでよい関係を築くことが出来た。
保育を支える組織的基盤	同じ視点での保育を行えるように会議やミーティングなどで日々の保育の振り返りを行い、クラスの垣根を越えて話し合いをしながら園全体で保育を行なえるように連携をしていった。

総評
園の保育理念を理解し、子ども主体の保育、一人ひとりに寄り添う保育を心がけて日々の保育を行ってきた。保育者との信頼関係のもと子どもたちも自分の意志表示がはっきりとできるようになり、その思いに応えることができるように発達段階も考えながら環境を整えていった。これからも子どもの思いと保護者の思い、保育者の思いが重なり合うように、日々のやりとりや連携を大切にしていきたい。